



**令和4年度  
寒河江市教育研究所のあゆみ**

## 令和4年度

# 寒河江市教育研究所のあゆみ

4月 7日 (木)	教育研究所事務局会議	市役所
4月14日 (木)	第1回 教育研究所運営委員会 (オンライン開催)	
5月 9日 (月)	寒河江市教育研究所全員集会	陵東中学区
	1 全体会 ・令和元年度研究組織と研究計画について	
	2 各部会 ・活動方針と活動内容 等	
5月10日 (火)	寒河江市教育研究所全員集会	陵南中学区・陵西中学区
	1 全体会 ・令和元年度研究組織と研究計画について	
	2 各部会 ・活動方針と活動内容 等	
	※陵西中学校区：陵西中学校区共通の資質能力を育成するための全体研修	
5月20日 (金)	寒河江市教育研究所全体研修会 (オンライン開催)	
6月 1日 (水)	第1回 課題研究部会 (オンライン開催)	
6月 3日 (金)	第1回 研究紀要編集委員会	市立図書館
6月24日 (金)	第1回 研修部会 (陵南学区)	陵南中学校
6月30日 (木)	第1回 研修部会 (陵東学区)	陵東学区各校
7月 7日 (木)	第1回 研修部会 (陵西学区)	白岩小学校
9月15日 (木)	第1回 学力対策委員会	南部小学校
11月 8日 (火)	研究協力校公開授業研究会	西根小学校
	・令和3年度～令和4年度 寒河江市教育委員会委嘱研究校 寒河江市教育研究所研究協力校	
	・テーマ『対話力を高め、主体的に学ぶ子どもの育成』	
11月10日 (木)	研究協力校公開授業研究会	高松小学校
	・令和3年度～令和4年度 寒河江市教育委員会委嘱研究校 寒河江市教育研究所研究協力校	
	・テーマ『主体的に学び、かかわりの中で学びを深める子どもの育成』	
	研究協力校公開授業研究会	寒河江中部小学校
11月18日 (金)	・令和3年度～令和4年度 寒河江市教育委員会委嘱研究校 寒河江市教育研究所研究協力校	
	・テーマ『たくましく学ぶ子どもの育成』	
	～主体的に学び、共に学び合い、その学びを実感できる授業づくり～	
11月29日 (火)	第2回 研修部会 (陵東学区・陵西学区)	陵東学区各校、醍醐小学校
12月 8日 (木)	第2回 課題研究部会	西根小学校
1月24日 (火)	第2回 研修部会 (陵南学区)	南部小学校
2月 9日 (木)	第2回 研究紀要編集委員会	市立図書館
2月10日 (金)	第2回 学力対策委員会	醍醐小学校
2月15日 (水)	第2回 教育研究所運営委員会	市立図書館
3月	研究紀要「教育風土さがえ」 第34号 発行	
	個人研究収録 第26集 発行	

## 寒河江市教育研究所 全体研修会

# 「読解力」向上に向けて

～RSTを活用した授業革新～

教育のための科学研究所 菅原 真悟 氏

### 1 リーディングスキルテストとは何か ～ねらいと特色～

- ・リーディングスキルテスト（RST）：汎用的基礎読解力を診断する目的で開発されたテスト
- ・汎用的読解力（日本語で書かれた文書を、分野問わず読解する読解力）を定義し、200字程度の短文の読解力（汎用的基礎読解力）を図る目的で開発
- ・RSTでは、教科書、新聞、辞書事典等の事実について書かれた短い文が出題され、受験者はその文を読んで問題に回答

### 2 リーディングスキルテスト：6分野7項目で測る汎用的な基礎的読解力

- ・係り受け解析（DEP）…構文を正しく解析し、「誰が」「何を」「どうした」がわかる
- ・照応解決（ANA）…指示語が指し示すもの、省略された主語・目的語がわかる
- ・同義文判定（PARA）…2つの文を比較し、同義か否かを判断できる
- ・推論（INF）…提示された文から推論することで、新しい知識を獲得できる
- ・イメージ同定（REP）…提示された文から、どのようなことを表しているかイメージできる
- ・具体的同定（INST）…定義を読み、それがどのような状況に当てはまるか具体的に認識できる
  - ・辞書的な定義（INSTd）／数理的な定義（INSTm）

### 3 RST開発背景：AI時代に求められる読解力

#### (1) 第3次AIブームと機械に代替される仕事

「第3次AI（人工知能）ブーム」からDX（Digital Transformation）へ

- ・2011年 米国クイズ番組でIBMの「Watson」がクイズチャンピオンに勝利
- ・2017年 将棋ソフト「ponanza」が佐藤名人に勝利
- ・画像認識／Google 翻訳／Siri／Alexa などAI研究の成果が身近に
- ・一方でAIに仕事を奪われるとの指摘も

「日本の労働人口の49%が人工知能やロボット等で代替可能に」

#### (2) 「ロボットは東大に入れるか」

- ・プロジェクトディレクタ：国立情報学研究所 新井紀子 教授
- ・2016年のセンター模試で偏差値57.1などの研究成果を出したが、東大は不合格
- ・AI時代に求められる能力とは何か？
  - 人間がAIと差別化するためには、事実について書かれた文を正しく理解できることが必要になることが明らかに
- ・事実について書かれた短い文（マイクロ構造）を正しく理解できることが、長い文（マクロ構造）の理解につながり、学習や仕事をしていく上で必須のスキル

### (3) なぜAI／DX時代に読解力が求められるのか

- ・ AIは意味を理解していない
  - …意味を理解して、読み、書き、問題解決できることがAIに対する人間の優位性
- ・ 2019年にOECDがPISA（生徒の学習到達度調査）で読解力を測定
  - …日本の子どもたちの読解力低下が指摘され、ニュース等で取り上げられる事態に
- ・ 新学習指導要領「言語能力の育成」

### (4) RSTと学力

- ・ RST研究開発グループの仮説
  - 「汎用的読解力が高い→自学自習力が高く、授業理解力が高い→一般的に学力が高くなる」
- ・ 高校偏差値と能力値の平均値との間に強い正の相関
- ・ 全国学力・学習状況調査において平均正答率が高い中学校は、RSTでも正答率が高く、分散が小さい

## 4 読解力を高める授業を考える

### (1) 読解力を育む授業を検討する

- ・ 係り受け解析／照応解決…誰が何をしたのか／「それ」「これ」が何を指すのか意識させる
- ・ 同義文判定…記述問題を採点する方法（観点）を教える、言い換えを試みる
- ・ 推論…書かれている内容から、どのようなことがいえるかを考える
- ・ イメージ同定…文がどのようなことを表すか、図やグラフにしてみる
  - 図やグラフからどのようなことがいえるか、文にしてみる
- ・ 具体例同定…定義を意識させる「○○とは～～である」
  - ※ まずは教科書を一人で読んで、意味が分かることを目指す

### (2) RSTを意識して教科書をもう一度読んでみる

- ① 文中の主語・述語、指示語が指し示す語は何か（係り受け、照応解決）
- ② 教科書に載っている文を言い換えてみる（同義文判定）
- ③ 書かれていることから、どのようなことがいえるか（推論）
- ④ 書かれている内容を図で表す／載っている図を文章で表す（イメージ同定）
- ⑤ どのような定義（○○とは～～である）が載っているか（具体例同定）

### (3) PDCAを回す

- ・ RSTを受検して終わりではなく、RSTの結果と普段自分たちが見ている児童生徒の様子を見ながら、PDCAサイクルを回していくことが大切
- ・ 結果を受け取ったら、自分が教えている児童生徒がどのような経過だったのか、よく確認する
  - 例：普段の成績との相関はあるのか
- ・ 何ができるのかを考え、できる範囲でまずは実践してみる
  - ⇒ 読解力が高い児童生徒の正のスパイラルへ

#### RSTと普段の成績を比較するヒント

